

サンバ&ボサノバ

サンバの特徴

サンバはブラジルを代表する音楽。
明るく陽気な雰囲気は、よく知るところかと思います。

リオのカーニバルなどのド派手な雰囲気は、
見る者すべてを魅了する強烈なインパクトがありますよね！

そんなサンバの特徴は以下の通りです。

- サンバ・キックと呼ばれる特有のバスドラム
- 「タンボリン」によるアクセント感
- 2拍目に大きく沈み込むビート

サンバ・キックと呼ばれる特有のバスドラム

「サンバ」と「ボサノバ」共通の特徴となりますが、ブラジリアン・ビートでは「サンバ・キック」と呼ばれる、特有のリズムパターンをもつバスドラムが特徴です。

付点8分音符と16分音符で構成される「ドンツトドンツト」というリズムで、サンバを象徴するビートとなっています。

「タンボリン」によるアクセント感

サンバでは、「タンボリン」と呼ばれる小型のスネアドラムのような太鼓で、特有のアクセント感をもつリズムパターンを演奏します。

「カッカッカカッカ / ッカッカッカカッ」というリズム、あるいはそれをひっくり返した「ッカッカッカカッ / カッカッカカッカ」というアクセントで演奏されるのが常套手段です。

考え方は、ラテンでお伝えした「クラーベ」と同じですね！

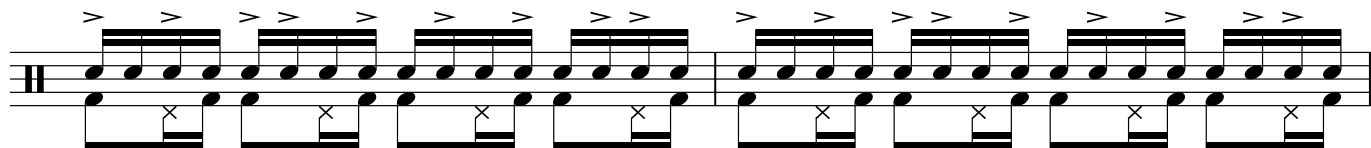
2拍目に大きく沈み込むビート

サンバにおける3つ目の特徴は、「スルド」と呼ばれる低音ドラムで演奏される、2拍目に大きく沈み込むようなアクセントです。

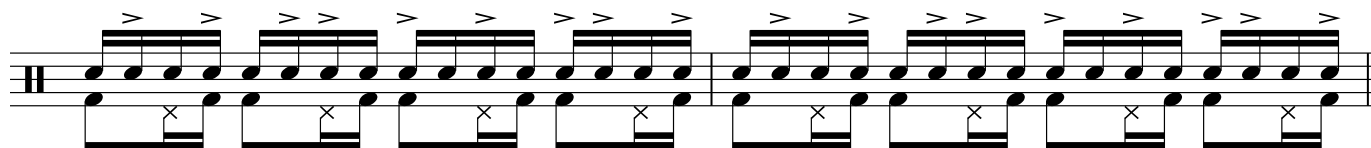
「ドゥツ・ドゥーン ドゥツ・ドゥーン」というリズム感で、1拍目よりも2拍目の方に比重を置いて演奏するのがコツ。

サンバ

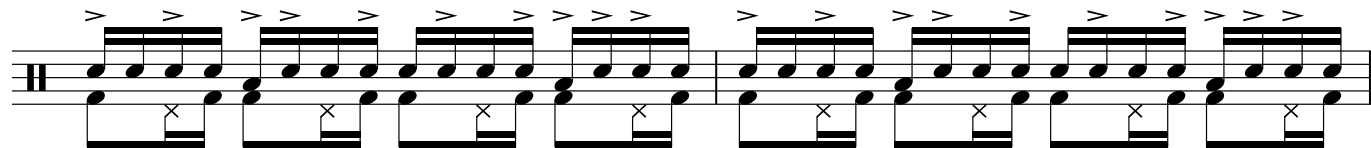
パターン①



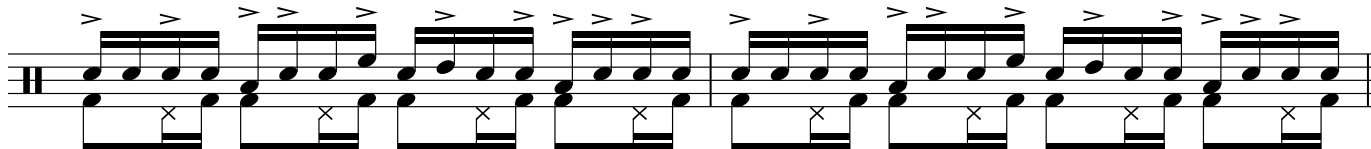
パターン②



パターン③

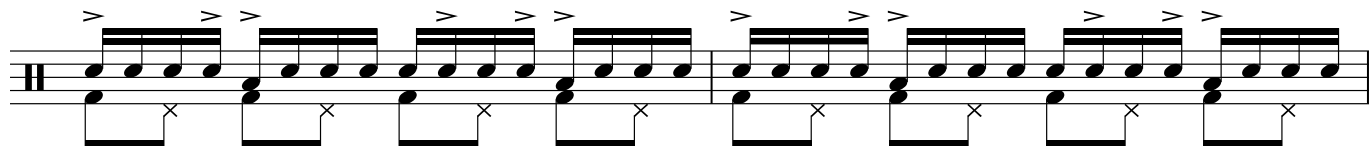


パターン④

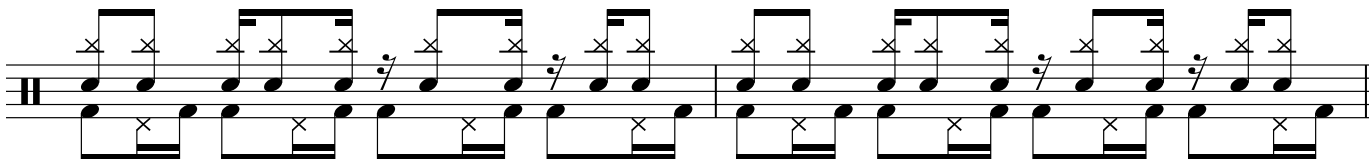


サンバ

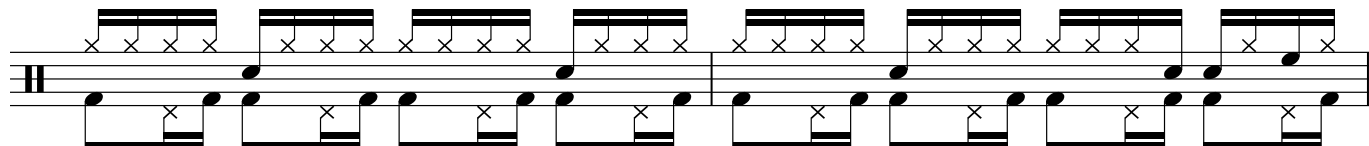
パターン⑤



パターン⑥



パターン⑦



サンバの打込みのコツ

■ サンバのベロシティ

サンバにおいては、「『タンボリン』のアクセント感」
「2拍目(&4拍目)の『スルド』風アクセント」をしっかりと
ベロシティで再現することがポイントとなりますので、必ず意識しましょう。
その他は、8ビート&16ビートの基本にならって打ち込めばOKです。

■ サンバのクオンタイズ

「タンボリン」のリズムをスネアで表現する際は
十分にスウィングさせることが重要です。
また、サンバキック特有のなまりのあるグルーヴを作る上で、
16分ウラのノートをプッシュ気味に配置することでそれらしくなるでしょう。

ボサノバの特徴

サンバから派生したブラジルを代表するもう1つのジャンルです。

ボサノバ(Bossa Nova)は、ポルトガル語で「新しい傾向」「新しい感覚」という意味を表す言葉で、サンバをベースに確立された新しいスタイルであることがよくわかります。

そんなボサノバの特徴は以下の通りです。

- サンバ同様、サンバ・キックがベース
- ゆったりしたテンポ感
- ボサノバ・クラベによる固有のアクセント

サンバ同様、サンバ・キックがベース

前述の通り、ボサノバにおいても「サンバ・キック」が用いられます。

ブラジリアン・ビートには欠かすことのできないリズムパターンですね。

ゆったりとしたテンポ感

ボサノバは、サンバに比べて非常にゆったりとしたテンポで演奏されることが多いです。

ポルトガル語の柔らかい響きもあいまって、ムーディーで癒される楽曲が多いことも魅力のひとつですね。

ボサノバ・クラベによる固有のアクセント

ラテンでご紹介したクラベ。

それがブラジルに伝わってボサノバに取り入れられたのが「ボサノバ・クラベ」です。

ラテンのクラベ同様、

「カッツカッツカッ / ツツカッツカッ」という、前3つ & 後2つの組み合わせか、

「ツツカッツカッ / カッツカッツカッ」という、

前2つ & 後3つの組み合わせを選択できます。

例によってこれを、「3-2」「2-3」のボサノバ・クラベといいます。

ボサノバ

パターン①

パターン②

パターン③

パターン④

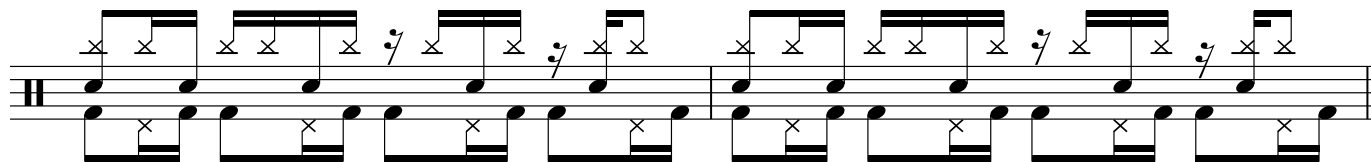
ボサノバ

Brush

パターン⑤



パターン⑥



ボサノバの打込みのコツ

■ ボサノバのベロシティ

ボサノバのベロシティは、
基本ビートにおける8ビート&16ビートのベロシティ設定方法を
忠実に守ればOKです！
すごくシンプルです。

■ ボサノバのクオンタイズ

クオンタイズもすこぶるシンプルに、8分に軽めのスウィングを入れつつ、
サンバ同様16分ウラのキックを軽くプッシュさせるといいでしょう。
サンバほどうねったグローヴは必要ないので、
あくまで「軽め」がポイントとなります。